

## 日本文化学科

### 1. 教育研究上の目的

日本文化学科は、日本文化に対する広い知識と深い理解の上に立って、国際感覚と高い言語能力を身につけ、世界に向けて日本文化を発信するとともに、その継承と発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

### 2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学学則に定める期間在学し、所定の教育課程を履修して、以下に示す能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した者に「学士（日本文化）」の学位を授与します。

#### [知識・理解]

1. 日本文化の伝統や特質に関する広範な知識とすぐれた見識をそなえている。
2. 現代にいたる日本の歴史、文化、言語に関する学識を継承していくことができる。

#### [汎用的技能]

3. 日本文化に関する知識・見識を諸外国・諸地域に向けて的確に発信できる語学力を身につけている。
4. 学術上、社会生活上の問題の発見・分析・解決に必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。
5. 現代社会において必要とされる情報コミュニケーションの技能を修得している。

#### [態度・志向性]

6. 多様な文化と相互理解を図ることができる広い視野をもっている。
7. 国際社会で活躍できる教養と品格をそなえている。
8. 諸文化の価値を認め、適切な敬意を払うことができる。

### 3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

日本文化学科では、教育目標の柱である「日本について知ること」を実現するために、「文学・芸術・思想」「民俗・歴史」「現代社会」「比較文化」の4つのフィールドを総合的、かつ専門的に学習して、日本文化の伝統や特質を踏まえた十分な理解が得られるように専門科目群を体系的に編成しています。

1年次には、大学4年間の学習の動機付け、初年次の基礎能力の育成、問題発見・解決能力、自分の考えを伝える表現力を養うことを目的に、日本文化基礎演習科目群、日本文化基礎科目群を開講し、初年次教育の充実を図っています。

1・2年次には、専門科目や初年次教育の学習過程で習得した知識を世界に向けて的確に発信する国際的なコミュニケーション能力を培い、異文化理解を深めるために、英語（外国語科目1群）と他の言語（同2群）、情報技術科目群、日本語表現法科目群、国際文化交流論科目群、人間・

環境系科目群、スポーツ・健康科学科目群、国際文化交流演習科目群など、様々な分野の科目を国際文化交流学部共通科目として体系的に編成しています。2年次以降は、民族・歴史系科目群、文学・芸術・思想系科目群、現代社会系科目群を設置します。

3・4年次には、日本文化基礎演習科目群を含む専門科目、国際文化交流学部共通科目で学んだことを踏まえ、日本文化の様々な分野の高度な研究を深めるために日本文化専門演習科目群と比較文化研究科目群を編成しています。

4年次は卒業論文、卒業研究に取り組むことで、日本文化について多面的、専門的な分析を行い、国際社会で活躍できるスキルを身につけます。

#### 4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（入学者に期待される資質・能力 [求める学生像]）

国際文化交流学部は、学則にある本学および本学部の目的にもとづき、次のような人が入学することを期待します。

- 国際文化交流を通じて人類の平和と文化の発展に貢献しようと考えている人。
- 文化の多様性を尊重し、人間の尊厳を守ることのできる人。
- 幅広い教養と地球的視野を身につけ、自らの人生を切り拓こうとする人。
- 大学で学ぶために必要な論理的思考力、知識、語学力をもつ人。
- 他者と協働しながら主体的、積極的に学ぶことのできる人。

日本文化学科は、学則にある本学科の目的および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、特に次のような人が入学することを期待します。

- 日本文化について幅広い関心をもち、その歴史や特質を十分に理解し、たしかな根拠にもとづいて世界に発信しようと考えている人。

以上